

業務実績評価に関するご意見等一覧

(令和7年度業務実績評価、第3期中期目標期間業務実績評価)

※主なものを掲載、順不同、一部要約

ご意見等	
第1-1 市民病院が担うべき医療	(篠原委員) 全項目に医療スタッフの皆さんが、医療はじめ病院経営に真剣に向き合ってくださっていること、長野市はじめ県の医療をリードされていることを高く評価しております。よって、各評価点は妥当と考えます。 (田中委員) 物価高、人件費の高騰、人材不足など、病院経営を取り巻く環境が厳しい状況にありながら、計画とおりに病院運営をされてきたことは素晴らしいことと思います。 (松本委員) 資料4-1 P10 地域がん診療連携拠点病院として高度な専門的医療の提供とともに、認定看護師等の育成、活用をされていることの説明を受けました。今後有資格者の育成、確保を進めていただき、地域の拠点病院としての役割発揮に期待いたします。 資料5-1 P18 高齢者等に配慮した医療は今後ますます需要が高まると考えます。その中でも認知症ケアチーム排尿ケアチームが機能し、実績を上げています。貴院のみならず地域の医療機関への支援も含め地域医療の推進に尽力いただきたい。 (水野委員) 各医療から災害対応まですべての項目において、予定通り実施できたことは評価できる。細かい部分においては、目標設定が適切であったかは、その都度検討すべきである。
第1-2 患者サービスの向上	(篠原委員) 診察待ち時間、採血待ち時間が短縮されておられ、患者満足度に反映されています。現場スタッフの皆様のおかげと感謝いたします。 (松本委員) 資料4-1 P26 セル看護方式は県内の医療機関からも注目されておりますが、身体拘束0に向けて

の取り組みも効果を上げている報告があり、看護の質の向上とともに、このような取り組みもぜひ他機関へ向けて発信していただきたい。

患者満足度の高い水準を維持していくうえで、常に患者の声を聴くという姿勢があるように思います。今後もその姿勢の継続が望まれます。

(水野委員)

入院患者の満足度が前年度実績より下がったことの原因が、環境の変化なのか、その他の原因なのか、検証して令和8年度以降に反映してもらいたい。

第1-3 医療に関する調査及び研究

(松本委員)

先駆的な取り組みが効果を上げているので、看護系の学会においても積極的な発表、投稿をお願いしたい。

第1-4 医療提供体制の充実

(川合委員)

市民病院はデジタル技術の活用を積極的に取り組んでおり、素晴らしい。今後も発展させていきたい。

(松本委員)

資料4-1 P43 医療安全研修受講率、感染対策研修受講率は高い水準が維持されていますが、この母数は何人でしょうか？率では見えてこない人数未受講の理由等教えていただき、重要な研修でありますので、100%目指していただけたらと考えます。

資料5-1 P40 医師の支援だけでなく、看護師、放射線技師の派遣体制も構築されたと記載があります。今後地域で専門職を確保していくために大変重要な動きであるため、この体制活用状況など教えていただき、この仕組みが圏域内、他圏域にも広がっていくよう期待しております。

(水野委員)

デジタル技術は働き方改革にも影響が出るので、先々のことも考え、中期的に大胆な取組を実施する気持ちで取り組んでももらいたい。

第2-1 経営管理機能の充実

(田中委員)

アクションプランの策定とその進捗管理を継続的に実施されており、そのことは、ほぼすべての

目標に対して、順調に成果を上げられている一要因と考えられます。また、経営改善プロジェクトでは、多くの役職者の参画を得て、増収、経費削減、業務時間の削減などの改善が図られ、黒字化の実現に向けた取り組みを着実に実施されていました。いずれも目に見える成果が出ており、素晴らしい取り組みだと思います。

(松本委員)

すべて計画的かつ効果的に実施がされていると思います。

(水野委員)

今まで以上に積極的に変革を求めて、経営改善や研修等を実施していることは評価できる。

第2-2 働きやすくやりがいのある職場環境の整備

(篠原委員)

働きやすい環境は、やりがいや充実感につながり、職員の心の安定が生まれ、患者への対応に余裕が生まれると思います。継続して、職員の声を取り入れながら推進してほしい。信頼ある病院は、人材育成が要になると思います。

(松本委員)

働きやすくやりがいがある職場環境の整備が離職率の低下に表れていると考えます。

(水野委員)

評価制度をしっかりと確立しておかないと人材の流出の可能性を持っているので、他方面の意見も参考にしながら確立を進めてもらいたい。

時間外労働時間が大幅に削減していることは、職員の意識が向上したことによる効果である。是非、更なる高みを目指してもらいたい。

第3-1 効率的な経営の推進

(川合委員)

どこの病院も大変苦しい状況の中で、黒字にただけでも素晴らしいという状況があります。医療はインフレの時代には非常に弱く、収入は公定価格で思うようにはいかない中で、黒字を出したことは、大いに評価していいと考えます。

(篠原委員)

物価高騰等の折、赤字経営の病院が多い中で、全職員が一丸となって対応され、黒字化を達成されたことは評価5以上の大変なご努力を見受けられます。

(田中委員)

破産更生債権等の処理において誤りがあったようです。現場の医療従事者は人命を預かる仕事で非常に緊張感の高い仕事をされており、一つのミスが人命に関わることもあります。一方で、事務部門は資料を作成し直したり、処理を訂正したりすることで、ことが収まりますが、医療従事者の方と同様の緊張感をもって対応いただくようお願いいたします。

(松本委員)

効率的な経営の推進は経営改善プロジェクトをはじめ全職員で進めたからこそ、ほぼすべての項目で目標達成につながっていったことがうかがえます。

(水野委員)

レセプト返礼率は改善されているが、レセプト査定率は前年よりも上昇している原因はどこにあるのか検証して、改善できるように努めてほしい。

赤字の時もあったが、全体で意識して改善したことは評価できる。

第3-2 経営基盤の確立

(田中委員)

対医業収益運営費負担金比率の説明文について、運営費負担金の減少は地方債の返済が終了したことに伴うものであることから、「運営負担金が減少し」という部分を削除して、「修正医業収益が増加したため目標達成となった。」とされてはいかがでしょうか。

運営費負担金があるものの経営改善プロジェクトの実行や各種取り組みに対するPDCAの実践を通して、着実に経営基盤を固められてきていると思います。

(水野委員)

経営の健全化に向けて取り組まれた結果ということで、評価できる。

第4-1 施設設備等に関する事項

(水野委員)

東館の建設竣工が予定通り実行でき、環境整備にもつながったことは評価できる。

第8-1 施設及び設備に関する計画

(水野委員)

物価高の中、他方面からの情報を取り入れ、業務実施が向上したことは評価できる。